



玉松海水浴場

遠浅で透明度の高いこの海水浴場には毎年たくさんの人が集まり、海水浴はもちろんキャンプ地としても人気があります。温水シャワーや更衣室なども完備。



物産館マルシェよもぎた

蓬田村産のトマトを中心に新鮮野菜や加工品が並びます。フードコートのランチでは、名産のトマトを使ったオムライスやナポリタンがオススメ！



村の駅よもっと

蓬田村産の新鮮野菜、さらには鮮度抜群のホタテや魚介類までズバリ！食堂メニューはラーメンや定食の種類が多く、地元の人にも愛されています。



黒滝

蓬田村の山間部にはヒバやブナの豊かな森が広がり、中でも落差11mの黒滝は雄大で神秘的な美しさ。地元小学生の校外学習の地としても親しまれています。

もう少し細かいところも聞いてみたい！そんなときはお気軽に下記へアクセス！

まずは一度、来てみませんか？
蓬田村の見どころをご紹介します！



玉松海まつり

毎年、8月第一日曜日に開催されるお楽しみイベント。ホタテ貝焼きのふるまいをはじめ、玉松太鼓の迫力ある演奏や参加型ゲームでとても盛り上がります。



玉松台と古城の沼

枝がくると玉のような輪っか状をした「玉松」。この樹齢300年以上の老松がたたずむ玉松台と隣接する古城の沼は落ち着いた風情が漂う景勝地です。



ふれあいセンターよもぎ温泉

大きな窓が明るく気持ちのいい大浴場に源泉の湯、サウナ、水風呂などがあります。体の芯から温まる温泉でゆったりとリラックスできます。

よもぎたぐらし



ゆったりと自分らしく
田舎ライフをはじめよう。

蓬田村
移住
相談窓口

蓬田村役場 総務課 企画財政班

〒030-1211 青森県東津軽郡蓬田村大字蓬田字汐越 1-3

Tel. 0174-27-2111

E-mail. yomogitamura@vill.yomogita.lg.jp



青森県蓬田村移住ガイドブック

静かで、ゆるやかで、ほっとする「田舎の風景」。
この眺めを前にすると、
きっと暮らし方だって変わっていきます。

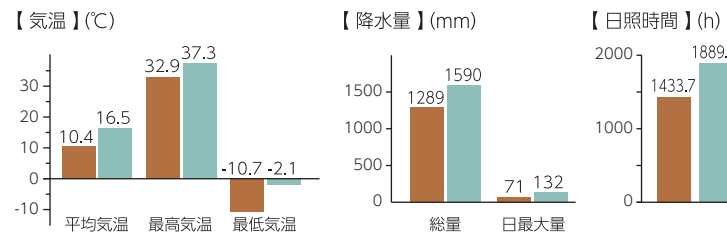
海があり、田んぼがあり、畑があり、森がある。
この村にいと、吹きわたる風の音やきらめく光、
生命力に満ちた緑の匂いを、五感で、全身で、感じとれる。
ああ、いいなあ。
これからの毎日を、丁寧に、味わうように暮らしたい。
そんなふうに思えてくる「よもぎたぐらし」が、蓬田村にはあります。



ここには、はっきりとした四季の移り変わりがあります。

蓬田村では春になると、その訪れを心待ちにしていたかのようにいろいろな種類の花々が一斉に咲きます。夏は海で泳ぎたくなるほど暑いときもありますが、地域特有の「やませ」と呼ばれる冷たい東寄りの風が吹くと真夏でも涼しく過ごしやすい日になります。例年、お盆を過ぎる頃には季節が秋めいてきて、比較的台風の襲来も少なく穏やかな日が続きます。初雪は白鳥の飛来と前後して11月下旬頃に降り、本格的な降雪は12月下旬から。積雪は100cmを超えることもあり、雪国ならではの美しい雪景色に包まれていきます。

蓬田村と東京都の気象状況比較(令和2年) ■ 蓬田村 ■ 東京都



参考：
蓬田村の最大積雪量

	最大積雪量
令和2年度	136cm
令和3年度	143cm

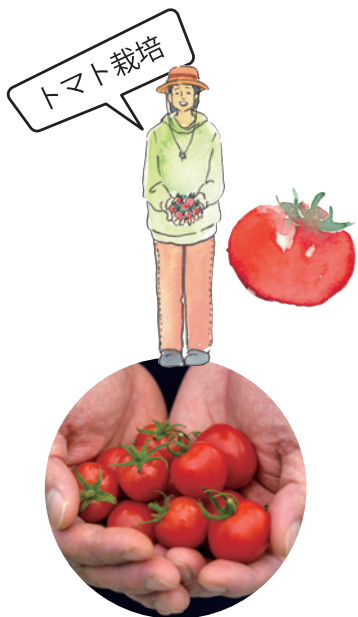
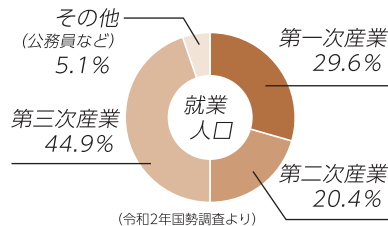
多いです。
暮らしている人が
向き合って
豊かな自然と

蓬田村はその豊かな自然環境を活かして、稲作をはじめソバや野菜の栽培、陸奥湾でのホタテ養殖など第一次産業が盛んです。中でもトマト、玉ねぎ、ホタテは収益力の高い村の特産品として力を入れています。

蓬田村総人口 2,502人

男	1,210人
女	1,292人
世帯数	1,116世帯

(令和5年11月末現在)



蓬田村のシンボルとなっているトマト。大玉品種の桃太郎からミニトマトまで、それぞれに味わいの個性が違う様々な品種を栽培しています。その美味しさの秘密は地域特有の「やませ」。この夏場に吹く冷たい東寄りの風によって昼夜の寒暖差が大きくなり、甘みと旨味が増すのです。



蓬田村の玉ねぎ栽培の大きな特徴は、循環型農業を推進していること。ホタテ養殖の貝殻、稲作のもみ殻、養鶏場の鶏糞を混ぜて堆肥化し、土に入れていきます。それにより土壌が改良され、玉ねぎの品質が向上。高収益作物として今後の栽培拡大が期待されています。



青森県は北海道と並び、全国有数のホタテ産地。陸奥湾に面した蓬田村もホタテ養殖が盛んで、地元中学生たちが水揚げに挑戦する体験学習もあるほど。近年は漁業の担い手の世代交代も進んでいるため、ネット販売での販路拡大や認知度アップにも積極的に取り組んでいます。



蓬田村は、南北約10kmほどのコンパクトな村。だから、だいたどこでもご近所感覚で行ける！

蓬田村役場新庁舎
令和7年8月開庁予定

青森市に隣接しているから
買い物にお出かけするにも
便利です！

お出かけするにも、
便利な立地。

蓬田村

- 車で約30分 → JRで約30分 → 青森駅
- 車で約20分 → 東北新幹線 新青森駅
- 車で約40分 → 北海道新幹線 奥津軽いまべつ駅
- 車で約40分 → 青森空港

蓬田村は青森市に隣接しているので、市街地にも気軽に出かけることができます。また、新幹線駅や空港にも車で数十分程度だから、県外へのアクセスもスムーズです。

自分らしくいられる気がする、蓬田村が好きですね。



三上 匠さん

蓬田村出身。社会人ラグビートップリーグのパナソニックワイルドナイツにて長年活躍後、2021年に引退しUターン。現在、家業の工務店にて大工の修行中。



Uターンは、以前から意識してたのですか？

実家が工務店なので高校も建築科でした。ただ、ラグビーに打ち込んで県外の大学に進学したときは、もう戻ることはないかと思ってたんです。けれど、ワイルドナイツから入団のお誘いがきたとき、ラグビーと仕事をしながら2級建築士の資格も取りたいという希望を受け入れてくれたので、それならいつかは戻って家業を継げるなど。それまではラグビーをやるだけやってみようと思いました。

Uターンの転機は、どのよう訪れたのでしょうか？

2021年に契約の満了を迎え、翌年には息子が小学校にあがる年だったんですね。できればあまり転校させたくないなど。それに



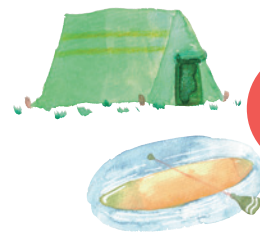
前年には念願の2級建築士の資格が取れたことも重なって、今だなど決意できました。いま思うと、向こうにいたときはそこに住んではいるけど、自分はその人だ、と思えなかったんですよね。それよりは蓬田で毎日寝て起きて暮らすのが、自分にとっては一番自然な気がして。そういう思いも、戻る決意をした理由のひとつかなと思います。

戻ってきて、蓬田村の暮らしはいかがですか？

やっぱり生まれ育ったところなので、なじみますね。言葉の訛もあると思うんですけど、小さい頃からの友人たちとは思ったまま話して伝わるというか、素でいられる感じがいいなと実感しています。あと、子どもが少ないのを心配してたんですが、蓬田小学校に入学する息子の同級生が二十数人いるとわかって、うれしくなりました。蓬田村になじんできたようで、だんだん言葉が訛ってきてます(笑)。これまではラグビーと仕事に走り続けてきた感じだったんですが、今は休みの日にキャンプとか行って、ぼーっとリラックスする時間のできたのが大きな変化ですね。それがまた明日から頑張ろうと思える力になってる気がします。



スキーやスノボが近くでできるのは雪国ならではの良さ。子ども連もこっちに来てから始めました。



三上さんのお気に入り

玉松海水浴場でSUPやキャンプ！



泳ぐのはもちろん、早朝の日の間にSUPしたりしてます。テントを張る場所もあるので、家族や友人とよくキャンプしに行ってますよ。

ラグビーみたいな大人数のチームスポーツは、地方だとなかなか人が足りないのがちょっと悩ましいです。



よもぎ温泉で近所コミュニケーション



三上さんのお気に入り

Uターンしたての頃は、ここで会う皆さんから最近の村のことを教えてもらったりして助かりました。気軽に声を掛け合えるのがいいですね。

大工は、地域にないと困る大事な職業。これから誰か移住してきたとしても必ず住む家が必要なので、そういう場面でお手伝いをしていくのが、自分を育ててくれた村への恩返しのひとつかなと思ってます。



今の暮らしについて教えてください！どんなふうに過ごしていますか？

実は今のほうが仕事の休み自体は、少ないんですよ。日曜日だけなので。それでも海が目の前なので早朝、仕事前にSUPしたり、土曜日の仕事が終わってからキャンプに行ったりして楽しんでます。日曜日は青森市のラグビーチームに入ってる子どもを送り届けて、自分も青森市の社会人ラグ

ビーチームで練習してます。午後は子どもを遊びに連れていったりしてますね。そう考えると、自然の中で遊ぶのが好きな人には海も山も近くて便利だし、それでいて青森の市街地にもすぐ行けるのが蓬田村のいいところだな、と思います。

「村」の良さがありながら、「村」過ぎない。
そんな蓬田村に移住できて、ラッキーだと思います。



増尾 一洋さん
増尾 幸子さん

一洋さんは愛知県出身。幸子さんは十和田市出身。東京から2016年に移住し1年半の研修後、ハウス3棟で増尾農園をスタート。現在は6棟を運営中。



東京からの移住。なぜ、蓬田村だったのですか？

（一洋さん）当時50才を目前にして、地方に移住したいと考えてました。家庭菜園もやっていたから農業をしてみたいなと思って各地を調べたりしたけど、大規模な土地が必要だったりでなかなかうまく話が進まなくて。

（幸子さん）そのうち、素人でも始めやすい作物がトマトだとわかって調べたら、蓬田村が盛んだと。農業支援センターの担当者の方に相談したら、じゃあ一緒に行ってみますかとなって蓬田村役場に行って。住む家、農地、研修。この3つが揃うのが理想なんですけど、役場で伝えたらちょうど空き家が出た話を教えてくれたり、農協の方に農地あるかと電話してくれたりして。ラッキーでしたね。小さな村だからこそ、アナログ的な人づての強み



でうまくマッチングしてもらえた感じですよ。
（一洋さん）あと、実際に現地で食べた「よもぎたベビーベビー」のおいしさにびっくりして。こういうのを作ってみたいと思われましたね。

本格的に農業を始めてみて、いかがですか？

（幸子さん）それまでデスクワークだけだったから、研修の最初の頃は体がきつかったですね。
（一洋さん）もう、歩けない立てない

（笑）。でも慣れるんですね。結局、体力がついて体調もよくなりました。あと、研修後も栽培マニュアルがあるし、隣が新規就農の先輩のハウスなので、何でも聞けて助かりました。

（幸子さん）初年度は相場が高く売れり上げもよかったよね。

（一洋さん）ただ、異常気象の年もあるし相場は上下するので、もう少し単価とか単位面積あたりの収量が上がるよう追求していこうと頑張るところです。

（幸子さん）まあでも、のんびりやりたいならそれも自分で選べるのが、農家のいいところだと思いますね。子どもがいたら子ども優先の生活でもいいし。今日はこれやろうとか、自分で自分の仕事を組み立てていけるのが、サラリーマン生活と違う大きな魅力なんだな、っていうのがやってみてよくわかりました。



移住のきっかけにもなった！
よもぎたベビーベビー
増尾さん
ご夫婦の
お気に入り

初めて蓬田村で食べたとき、その甘さ、おいしさに感動！皮がとても薄く手間がかかりますが、蓬田のブランド品種として大切に育てています。



飼育犬の「コウちゃん」。コウちゃんと散歩するとき、海が見えて、その向こうには下北半島や八甲田山が見えて、ああここは空が広いなーなんて思えるのが幸せです。ほかに猫2匹も飼っていますよ。



春と秋には、津軽半島一周のドライブに出かけるのが楽しみ！途中の錆釜崎も好きだし、龍飛崎のレストハウスもお気に入りです。車で1時間ちょっとで行けるのがいいですね。



増尾さん
ご夫婦の
お気に入り

五松観光食堂の
カツ丼で元気100倍！



かつ丼のかつ肉質がいいですね。ちゃんとした味のあるおいしいお肉を使っていると思います。卵も地元の坂本養鶏の卵だし、よく行っています。



たまに、焼き鳥のとり清さんに電車で飲みに行っています。あとは時々、地元で愛されている酒、喜久泉を酒屋さんで買って呑んでいます。うまい！



今の暮らしについて教えてください！どんなふうに過ごしていますか？

（一洋さん）最初は貸家でしたが、今は中古住宅を買って住んでいます。家から海も見えるし満足ですね。ちなみにシーズンオフの冬は除雪の仕事をしています。実はその仕事を通じて、移住者には難解といわれる津軽弁がだんだんわかるようになりました。言葉と寒さは慣れるもんだな、と実感し

ています。
（幸子さん）あとここは車で青森市に買い物にすぐ行けるし、隣近所広いし、いいところだよ。ね。
（一洋さん）語弊があるかもしれませんが「青森市蓬田町」みたいな感じかも。そのくらい便利。ほんと、「移住の穴場」だと思いますよ。



車はあったほうがいい?

はい。正直、必需品といっても過言ではないです！車以外の交通手段としてJRもありますが、電車の運行は1～2時間に1本くらいです。

集合住宅(アパート)ってあるの?

ありません。ですが、低所得世帯で入居資格を満たした方向けの村営住宅や数は少ないですが空き家の賃貸はあります。さらに村では現在空き家バンクの整理を進めています。

一年を通して過ごしやすいの?

過ごしやすいです。北国ならではの気候で、夏はお盆過ぎから涼しくなっていきます。冬は雪が大変なときもありますが、大丈夫！慣れます。



確かにご年配の方の方言は、地元民でも「？」なときがあります。移住の先輩方の経験だと1年ほどで耳が慣れ、普段使いの言葉は分かってくるとのこと。

方言って聞き取れる?

「住む」となればやっぱり気になる!

Q & A 本音の

移住を本気で考え始めると、いろいろな具体的な疑問点が出てくるもの。移住相談会などで実際に多く寄せられる質問について、正直に、本音で、お答えします!

都心での生活よりもライフコストは下がる?

家賃などの居住コストは下がります。ただし、冬期間の暖房費がかかってくるのでトータルでトントンくらい、というところでしょうか…。



冬に雪はたくさん積もる?

積もります！年によって増減はあるものの、最大積雪が100cmを超えるときもあります。そのため村では重機によるこまめな除雪を頑張っています！

企業への就職はできる?

企業就職なら隣の青森市で探すのが現実的。車で約30分で通勤できます。村で仕事をするなら、新規就農制度を利用して農家をめざす選択肢も。

移住支援金を始め、子育て、医療、就農など様々な支援制度をご用意しています。

18歳までの医療費が無料!

小学校では冬に無料でスキー教室へ!

中学校では無料で海外研修へ!(R5年度は台湾へ)

小・中学校の給食費が無料!(補食給食)

特に子育て支援は、手厚く、楽しく!



蓬田村助成・補助金等施策一覧(令和5年度)

移住

蓬田村移住支援金

◎ 蓬田村役場総務課 TEL.0174-27-2111

1人世帯60万円、2人以上の世帯100万円を支援。加えて18歳未満の子ども1人につき、最大100万円を支援。
【条件】住民票を移す直前の10年間のうち、通算5年以上、東京23区内に在住。または、東京圏のうちの条件不利地域以外の地域に在住し、東京23区内へ通勤していたこと。

子育て

就学奨励金貸与基金事業

◎ 蓬田村教育委員会 TEL.0174-31-3111

大学、短大、各種専門学校等に在学されている方に、月20,000円(年間240,000円)を無利子貸与。

就学援助費支給事業

◎ 蓬田村教育委員会 TEL.0174-31-3111

村民税非課税者等を対象に、児童・生徒の就学に必要な学用品費等について、一部または全額を支給。

学校給食費無償化事業

◎ 蓬田村教育委員会 TEL.0174-31-3111

小中学校の学校給食費を無償化。

乳幼児・児童生徒医療費助成事業

◎ 蓬田村役場健康福祉課 TEL.0174-27-2113

0歳から18歳までの子どもの医療費を全額助成(所得制限なし)。

医療

ひとり親家庭等医療費給付事業

◎ 蓬田村役場健康福祉課 TEL.0174-27-2113
ひとり親家庭等の医療費を一部または全部助成(所得制限あり)。

こんな場合はどうなの?といった疑問・質問があれば、担当の私までお気軽にお問い合わせください。個別対応で解決できることもあるかもしれませんよ!

農業

新規就農者育成総合対策事業

◎ 蓬田村役場産業振興課 TEL.0174-27-2115
認定新規就農者に対し、最長で3年間給付。1人あたり年間150万円(夫婦で経営する場合は年間225万円)。詳細な要件についてはお問い合わせ。

蓬田村役場総務課
企画財政班
清水 翼

TEL 0174-27-2111
FAX 0174-27-3255

